

<p>タイトル</p>	<p>平成31年度 一般入試（前期日程） 教育学部 国語教育専攻 国語小論文</p>
<p>評価のポイント</p>	<p>「国語小論文」では、言葉、文学、教育に関する総合的な力を問い、課題の理解力、論理的な思考力、発想の豊かさ、文章表現力などを評価した。</p> <p>評価に当たっては、以下のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文の内容を把握し、必要に応じて適切な引用や問題文のまとめができているか。</li> <li>・問題文の内容に沿った体験や事例を挙げているか。</li> <li>・問題文のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。</li> <li>・解答の論旨は明快であるか。</li> <li>・文章の構成や文が論理的になっているか。</li> <li>・適切な表現ができていないか。誤字・脱字はないか。文章に乱れはないか。</li> <li>・制限字数を満たしているか。</li> </ul> <p>加えて、それぞれの問では、次の点を満たす必要がある。</p> <p>① 二つの文章の内容の共通点を把握できているか。二つの文章の内容を踏まえ、「社会生活に必要な言語コミュニケーション能力」について、自分の意見を根拠に基づいて明確に述べられているか。</p> <p>② 『老子』の三つの章の内容を把握できているか。三つの章の内容を踏まえ、自分の意見を根拠に基づいて明確に述べられているか。</p> <p>出典 朝日新聞 2018年1月6日 朝日新聞 2018年5月23日 湯浅邦弘『諸子百家 儒家・墨家・道家・法家・兵家』 2009 中公新書</p>